

4 高等学校における道德教育

高等学校における道德教育は、人間としての在り方生き方に関する教育であり、公民科の「公共」及び「倫理」並びに特別活動を中核的な指導場面として各教科・科目等の特質に応じ学校の教育活動全体を通じて、生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探求し豊かな自己形成ができるよう、適切な指導を行わなければならない。各学校においては、「高等学校における道德教育推進のポイント」を踏まえ、学校の実態や生徒の発達の段階などにふさわしい教育活動を行えるよう、校内研修の充実が求められる。このため、校長の方針の下、道德教育推進教師を中心として、全教員が積極的に関わることができる機能的な協力体制を整えるとともに、生徒の実態等を踏まえた「育てたい生徒像」から、道德教育の重点目標や各学年の指導目標を明確にし、各学校の特色が生かされるような全体計画の具体化や評価・改善等を通して、道德教育の重要性や特質について理解を深め、各学校の特色を生かした重点的な道德教育が展開できるよう工夫していくことが大切である。

高等学校における道德教育推進のポイント（例）

- 教員間での道德教育に係る共通理解を図る。
 - 計画的・継続的な指導を行うための組織づくりを行う。
 - 推進上、基軸となる機会と場を設定する。
 - 固有の指導内容・指導方法、教材を開発する。
- ※小・中学校の道德教育を基礎として
- 自己の生き方を社会との関わりで探求させる。
 - 各学校の特色を生かして重点的な道德教育を展開する。